



# 織維の街 児島へ

## 全ては綿から始まった児島の織維産業

現在、「織維のまち」「国産ジーンズ発祥の地」として知られる児島地区ですが、日本最古の歴史書「古事記」の国生み神話において、日本で9番目の島「吉備の児島」として誕生したとされ、一面は海に囲まれていました。その広大な浅海は、高梁川から運ばれた土砂と、近世以降の新田干拓により、陸地へと姿を変え、江戸時代の初めに本州と陸続きとなりました。この新田には米の栽培を見込んでいましたが、塩分を多く含んでいたため米作には向かず、試行錯誤の末、良質な綿花が取れることがわかり、綿花の栽培を行うこととなりました。また、児島半島のほぼ中央に位置する由加山に端を発した水系は四方に流れ、ふもとの集落を潤していました。このように周囲の綿作地帯と、染色や燃より機に欠かせない水を豊富に確保できるという好条件から、児島地区では織維産業が発達し、現在に至るまで、高い技術力で伝統を守りながら発展を続けています。



## 児島の観光スポット

### 瀬戸大橋

瀬戸大橋は瀬戸内海の島々を経由して本州と四国を結ぶ長大橋群です。3つの吊橋、2つの斜張橋、1つのトラス橋があり、この6つの長大橋を総称して「瀬戸大橋」と呼ばれています。1988年4月10日に開通した、瀬戸中央自動車道(上部)とJR瀬戸大橋線(下部)が通る2層構造の「道路・鉄道併用橋」です。土曜と祝日は日没より橋がライトアップされロマンチックな雰囲気が楽しめます。



### 鷺羽山

鷺羽山は、多島美を誇る瀬戸内海屈指の展望地で、鷺が羽を広げたように瀬戸内海に突き出ていることからその名が付けられたといわれています。山頂付近には瀬戸内海国立公園を紹介するビジターセンターが設置されています。麓から山頂にかけては遊歩道が整備されており、いたるところから本州と四国を結ぶ「瀬戸大橋」などを眼下に見渡すことができます。



### 王子が岳

その昔、百済(くだら)の王女が産んだ8人の王子が住んでいたことから名付けられたといわれています。標高235mの小高い山で、ユニークな形をした花崗岩の奇岩・巨岩が転がり、また今にも落ちかかろうとする独特の山容を持ちます。春はサクラやツツジなどが咲き誇る手ごころなハイキングコースとして親しまれています。



### ジーンズミュージアム&ヴィレッジ

日本で初めてとなるジーンズの博物館。施設内には、ジーンズの資料館、体験工房、ショップ、ドッグランなどを併設しています。ジーンズミュージアムを中心に、ジーンズづくり体験、オーダージーンズなど、ここでしか体験できないジーンズ体験が詰まっています。



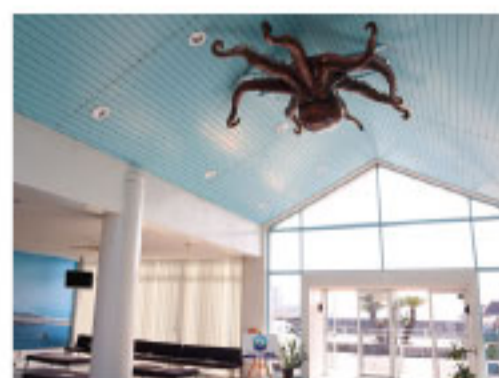
### 児島ジーンズストリート

児島ジーンズストリートは味野商店街の中にあり、旧野崎家住宅から野崎の記念碑までを結んだ400メートル程のストリートです。地元ジーンズメーカーのオリジナリティあふれる品々が購入できるほか、ジーンズ以外にも魅力的なショップやカフェなども並びます。



### 児島観光港

令和3年5月に「くらしき・こじま海の駅」として認定されました。観光船待合所では、下津井の大タコがお出迎え。児島観光港から与島の手前までクルージングする、瀬戸大橋周遊観光船(所要時間約45分)が10:00~14:00(8月は15:00まで)の間出航しています。



### 児島ラッピングバス

本年度実施される瀬戸内国際芸術祭や岡山デスティネーションキャンペーンなどの大型キャンペーンにおいて、児島をPRするため、下津井電鉄株式会社と連携し、Gパンだや児島の織維などのイラストをラッピングしたバスを運行中です。是非ご注目ください。



この他にも児島の観光スポットやイベント情報などをぜひご覧ください!!

<https://www.kojima-sanpo.jp/>

倉敷市児島の観光・産業情報サイト!

こじまさんぽ

検索



「こじまさんぽ」で紹介中!